

## 令和8年度 小・中学校リーディング・ティーチャー養成研修 実施要項

- 1 目的 これからの学校経営を組織的に支えていく人材として必要な資質、能力や指導力の向上を図る。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校の教職経験5年以上の教諭・養護教諭・栄養教諭及び首席・指導教諭・指導養護教諭・指導栄養教諭

募集人数 50名

## 3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	オンデマンド開催 4月27日(月) ～ 5月18日(月)	これからのリーダーに期待すること 大阪府の教育課題 目標設定 〔講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等
2 (選択)	5月25日(月) 14:00～17:00	A 校内研究の意義と担当者の役割 研究授業や討議会の充実に向けて 〔講義・交流・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等
	5月28日(木) 14:00～17:00	B 学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方 ーカリキュラム・マネジメントの意義と必要性ー 組織的かつ効果的にカリキュラム・マネジメントを進めるために ー実践事例から学ぶー 〔講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等
3	オンデマンド開催 6月19日(金) ～ 7月3日(金)	大阪府における人権教育の現状と課題 「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 大阪府の教育コミュニティづくり 〔講義・演習〕	大阪府教育庁 指導主事等
4	オンデマンド開催 7月10日(金) ～ 7月24日(金)	教職員の服務規律とハラスメントの防止 学校における生徒指導事例研究 〔講義・演習〕	大阪府教育庁 指導主事等
5	8月20日(木) <b>9:30～12:30</b>	リーダーシップとコミュニケーションスキル 取組みの中間報告会 〔講義・演習・協議〕	大阪府教育センター 指導主事等
6	1月14日(木) 14:00～17:00	取組みの成果報告会 組織の活性化に向けた学校組織マネジメント 〔講義・協議〕	大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

※第2回は、AまたはBのいずれかを選択して受講してください。Aは「校内研究担当者研修」と、Bは「小・中学校『カリキュラム・マネジメント』実践研修」との共通研修です。過去にA、Bともに受講済みの場合は、第2回の受講は免除となります。

※第3回は、「小・中学校新任首席研修」との共通研修です。

4 会場 第1回、第3回、第4回 所属校等

第2回A、第2回B、第5回、第6回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 その他

(1) 受付は30分前から。

(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。

(3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。

(4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。

6 担当室 学校経営研究室

個別募集

令和8年度 小・中学校リーディング・ティーチャー養成研修  
シラバス

1499

## 1 目的

これからの学校経営を組織的に支えていく人材として必要な資質、能力や指導力の向上を図る。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

スクールリーダースタンダード						
	1	2	3	4	5	6
第4期（校長・准校長）						
第3期（教頭）						
第2期（首席・指導教諭）	○	○	○	○	○	
第1期（リーダー養成期）	○	○	○	○	○	

## 3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	これからのリーダーに期待すること	ミドルリーダーに期待されている役割について理解する。	講義を通して、ミドルリーダーに期待される役割について学ぶ。	
	大阪府の教育課題	大阪府の教育課題について理解し、教職員のリーダーとして求められる識見、企画力及び実践力を高める。	講義を通して、大阪府の教育課題について学ぶ。	
	目標設定	学校組織の活性化に向けた目標設定及び目標達成スケジュールの立て方について理解する。	講義、演習を通して、学校組織の活性化に向けた目標設定及び目標達成スケジュール作成について学ぶ。	<b>準備物</b> 自校の学校教育目標等がわかる資料
2 (選択)	A 校内研究の意義と担当者の役割	校内研究の意義と担当者の役割について理解する。	講義、交流を通して、校内研究の意義と担当者の役割及び効果的な校内研究の手法について学ぶ。	<b>準備物</b> 「校内研究年間計画」等、今年度の校内研究の取組みがわかる資料
	A 研究授業や討議会の充実に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒の資質・能力を育む授業改善について理解を深める。</li> <li>研究授業や討議会について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義を通して、資質・能力を育むための授業づくりのポイントを学ぶ。</li> <li>演習や交流を通して、教員が学び合うための研究授業や討議会の在り方を学ぶ。</li> </ul>	

B	学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方 ーカリキュラム・マネジメントの意義と必要性ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を理解する。</li> <li>・組織的にカリキュラム・マネジメントを進めていくことの必要性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、演習を通して、カリキュラム・マネジメントの意義と必要性について学ぶ。</li> <li>・講義、演習を通して、組織的にカリキュラム・マネジメントを進めることの必要性について学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントに全教職員が関わっていくための工夫について考える。</li> </ul>	<p><b>準備物</b></p> <p>※データでも可</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標がわかるような資料</li> <li>・学校の教育計画がわかるような資料</li> <li>・学校の各教科及び総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科 道徳の年間指導計画がわかるような資料</li> </ul>
	組織的かつ効果的にカリキュラム・マネジメントを進めるために ー実践事例から学ぶー	効果的なカリキュラム・マネジメントの進め方について理解する。	講義、演習を通して、カリキュラム・マネジメント実践のポイントを所属校の取組みに生かす工夫を考える。	
3	大阪府における人権教育の現状と課題	大阪府の人権教育の現状と課題について理解を深める。	講義を通して、大阪府における人権教育の現状と課題について学ぶ。	
	「ともに学び、ともに育つ」教育の推進	障がいのある子どもを含めたすべての子どもを大切に「ともに学び、ともに育つ」教育について理解を深める。	講義を通して、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進していく学校づくりについて学ぶ。	
	大阪府の教育コミュニティづくり	「教育コミュニティづくり」の取組みについて、理解を深め、自校の「教育コミュニティづくり」を推進する。	講義、演習を通して、大阪府の「教育コミュニティづくり」の取組みについて学ぶ。	
4	教職員の服務規律とハラスメントの防止	教職員の服務規律やハラスメントの防止について理解する。	講義を通して、事例等を基に教職員の服務規律やハラスメントの防止について学ぶ。	

	学校における生徒指導事例研究	生徒指導に関する事例研究等を通して、課題の把握や解決に向けた方策、未然防止に向けた対応等について理解する。	講義、演習を通して、生徒指導の事例を基に課題の把握や解決に向けた方策、未然防止に向けた対応等について学ぶ。	
5	リーダーシップとコミュニケーションスキル	業務遂行に関するリーダーシップとコミュニケーションスキルについて理解する。	講義、演習を通して、業務遂行に関するリーダーシップ及びコミュニケーションスキルについて学ぶ。	
	取組みの中間報告会	ミドルリーダーとしての自校での取組みを共有することにより、取組みの成果と課題を認識し、今後の取組みに生かす。	協議を通して、ミドルリーダーとしての自校での取組みについて、成果と課題を認識し、他校の取り組みから、課題の改善方法を学ぶ。	<b>事前課題</b> 実践報告レポート「ミドルリーダーとしての取組み」
6	取組みの成果報告会	ミドルリーダーとして自校で取り組んだ成果を受講者間で共有することにより、ミドルリーダーとしての今後の取組みを考える。	協議を通して、ミドルリーダーとしての今後の取組みを考える。	<b>事前課題</b> 実践報告レポート「ミドルリーダーとしての取組み」(第5回の後に加筆修正したもの)
	組織の活性化に向けた学校組織マネジメント	業務を遂行するための学校組織マネジメントについて理解する。	講義を通して、業務を遂行するための学校組織マネジメントについて学ぶ。	